

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 532

事務事業名	町内公民館建設費補助金
-------	-------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会		
課名	社会教育課		
課長名	柳原 寅雄	内線	84-156
担当者名	白濱 幸	内線	84-154

基本目標		持続可能な行財政運営と市民協働の推進
政策	060301	地域コミュニティの活性化とみんなで取り組むまちづくり
施策		地域コミュニティの活性化
関連施策		

会計	一般会計		
款	10	教育費	
項	5	社会教育費	
目	1	社会教育総務費	
事業コード	050100	町内公民館建設費補助金	

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	町内公民館の新築、増改築、用地取得等を行う町内会等		
意図	社会教育活動・地域交流・レクリエーション等の地域のコミュニティ活動の活性化を図る。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新築、増改築、用地取得、水洗化工事を行う町内公民館に対し、補助対象事業費の1/2の補助を行う。 ・合併処理浄化槽の設置を行う公民館に対し、補助対象事業費の全額の補助を行う。 		
事業期間	昭和 47 年度 ~ 平成 年度	実施方法	補助
根拠法令、要綱等	大村市町内公民館補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 新築・用地取得件数	計画値	0	1	2	0	
		実績値	0	1	2		
		達成度	%		100.0%	100.0%	
	② 増改築の件数	計画値	1	3	4	3	
		実績値	1	3	4		
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
成果指標	① 新築・増改築・用地購入等希望公民館の達成率	計画値	100	100	100	100	
		実績値	100	100	100		
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	② 新築、増改築等を実施した公民館数/新築・増改築等を希望していた公民館数	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	210	9,072	10,056	10,000	3,750	10,000	10,000	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債					3,750			
その他								
一般財源	210	9,072	10,056	10,000		10,000	10,000	
② 人件費(千円)	1,430	1,360	1,270	1,309	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.18	0.18	0.18	0.18	町内公民館の新築、増改築、用地取得、水洗化工事等に対する補助	町内公民館の新築、増改築、用地取得、水洗化工事等に対する補助	町内公民館の新築、増改築、用地取得、水洗化工事等に対する補助	
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	1,640	10,432	11,326	11,309				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成27年度は、用地購入1件、新築1件、増改築4件の町内公民館に対し補助を行った。 平成28年度は、2件の町内公民館に対し補助を行う予定である。
事業が抱える問題・課題等	老朽化による建替えや大規模増改築工事を希望する公民館が増加している。また、塗装のみの工事や駐車場用地の確保へも補助対象を拡大できないかとの要望があるが、建替えや大規模増改築工事を実施予定の公民館が多いため、現状では困難である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	町内会等が建設事業費を全額負担となれば、多くの町内会等の財政基盤が脆弱なため、自己財源での負担は厳しく、事業の実施は困難となる。また、施設の老朽化等により、地域コミュニティ活動が低下することにも繋がるため、補助金の交付の必要性は高い。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	町内公民館は、地域コミュニティの創生や活性化のために必要で、地域の集会やレクリエーション等の拠点としても大きな役割を担っており、建設事業に対する補助金の交付は必要不可欠である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	要望があった全ての公民館の新築・増改築等について、補助金の交付を実施出来ており、事業成果は高い。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	新築・増改築工事等を行う事によって、安心・安全で利便性に優れた公民館となり、地域の活性化にも繋がっている。また、高齢化が進む中、平成22・23年度に実施したバリアフリー化事業費補助金(9/10)で手すり・スロープ等を設置したことにより、高齢者だけではなく障がい者も利用しやすい公民館となっていて、多くの地域の方々から感謝されている。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	多くの町内会等の財政基盤は脆弱であり、自己財源も不安があることから、負担割合及び限度額については、現状を維持する。						
【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし		

※事業類型が1~3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	新築・用地購入・大規模増改築工事については、毎年実施しているアンケート結果や相談等で判断し年度計画を立てている。また、このことについては、研修会等で町内公民館長へ毎年説明を行い制度の周知や理解を図っている。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	資金計画を立てて安定的な事業の運営が実施できる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。